

全国協議会 ニュース

2008年12月1日発行
第198号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髓バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者・中野勝博
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

移植数 骨髓1万例・さい帯血5千例 ありがとうキャンペーン開催します！

この会報が皆様のお手元に届くころ、骨髓移植数1万例、さい帯血移植数5千例に達したというニュースが流れていると思います。

1993年1月の日本骨髓バンク第1例の骨髓移植から15年目、そして1997年2月の国内初の非血縁者間さい帯血移植から11年目、実に1万5千人の患者さんが命の種を分けていただき、移植を受ける事ができました。

この機会に、骨髓バンク・さい帯血バンクという社会システム構築に奔走された方々、お力添えを下さった多くの方々、善意をお寄せ下さった皆様、命の種を分けて下さったドナーさんとお母さんと赤ちゃんに感謝

し、またその一方で、残念ながらチャンスを得られなかった多くの「いのち」に思いをはせながら、全国の関係者とこれからも努力していく事を誓い合う「ありがとうキャンペーン」を開催します。

今後の予定

○12月21日(日) 13時～ 銀座
ありがとうパレード(東京・銀座)

○2009年2月6日(金)

第31回日本造血細胞移植学会
市民公開講座(北海道・札幌市)

○1月～4月 全国リレー記念
植樹 沖縄から北海道まで
「さくら」を植えます

○全国一斉ありがとうキャンペーン

たくさん「ありがとう」のメッセージを全国に広め、骨髓バンク・さい帯血バンクって何?と思っている方に知っていただく機会にしたいと思っています。

いづれも参加は自由です。多くの方のご参加お待ちしております。

詳細につきましては今後HP等で発表します。

ありがとうキャンペーン開催のための協賛・寄付を募っています。

郵便振替口座00150-4-15754「全国骨髓バンク推進連絡協議会」

ご協力よろしく願っています。

命をつなぐタスキリレー 1kmを駆ける喜び

10月26日、国立競技場で移植医療のシンボルであるグリーンリボンの名を冠したランニング・フェスティバルが開催されました。今回で3回目になるこの大会には、一般の方と共に移植を受けた患者さんや、ドナー、移植医などのチームが参加しています。全国協議会でも財団職員と共に、ブリスでのPR活動と併せ、元患者チームとドナー&事務局チームに分かれ、1人1kmを4人で走る駅伝の部に参加しました。

駅伝は当初自力で勝るドナーチームがリードしましたが、第



お揃いの真っ赤なTシャツ

3走者で逆に元患者チームがリードし、最後は元患者チーム、ドナーチームがほぼ同時に仲良くゴールインしました。

表彰式では特別賞もいただき、後日の東京新聞紙上の特集でも骨髓バンクチームのことが写真入りで大きく取り上げられました。1kmといえども、移植を受けた患者さんが走れるまでに回復したことは本当に喜ばしいことです。私たちの参加が現在闘病されている患者さんの励みになればこれほど嬉しいことはありません。

当日、グリーンリボン駅伝に参加くださった方の感想です。
◇この度のグリーンリボン駅伝はとっても気持ちよく走ることが



モト患者チーム 野沢選手激走中



モト患者チーム(左)とドナーチーム(右)のアンカーが、仲良くゴールイン

ができました。

みんなで駅伝を成功させよう!という同じ目標を持っていたので、参加した人みんなに一体感があつたし、今までこんなに声援を受けて走ったことはなかったと思います。

当日に知り合い、初めはカチンコチンだった患者チームのメンバーとも、いつのまにか普通に話せるようになっていました。骨髓バンクを通して知り合ったみんなに応援してもらったし、白血病を通して、また新しい仲間が増えたと、カラー写真つきで新聞にまで載せてもらったし、記憶に残る一日となりました。

ありがとうございました！
(野沢男男)

◇走れてよかった!というのが率直な感想です。走るとか、苦しいことからトコトン逃げてこの10年過ごしてきましたが、苦しい後の爽快感がなんともいえない感動となりました。

足が止まりそうになった時、無菌室の中で飲めない薬と闘っている自分が浮かびました。自分に負けず、タスキを繋げ元患者チームで完走することが出来て本当によかった。今、病氣と闘っている人にも見てほしい。きっと元気になれるよって。

ドナーさん、みんなあなたのお陰です。私元気に走ってますよ!ありがとう。(高橋めぐみ)
◇マラソンが趣味(というより生きがい?)になって早2年。

新年は箱根駅伝での啓発活動で ボランティア初め!

1月2・3日に行われる第85回箱根駅伝において、今年も骨髓バンク普及啓発活動を行います。

2003年に最初は有志の2人で始めた箱根駅伝でのPR活動ですが、今回で7年目を迎えることとなります。ここ数年は加盟団体のボランティアだけでなく、企業や個人のみなさんご協力も

得ておりますが、もっともっと多くのみなさんの協力を得て、たくさん骨髓バンクののぼりを沿道にはためかせてPRしたいと思えます。

箱根駅伝の沿道近くにお住まいの方、一度は選手の力走を間近でご覧になりたい方、そして宮ノ下温泉街で



第84回の啓発活動の様子(箱根・富士屋ホテル前)

骨髓バンクNOW

骨髓バンクの最新情報をお知らせする

《財団マンスリーレポート(11月15日発行)より抜粋》

●10月の移植件数が過去最高に

10月の移植件数は114件(国内ドナー→国内患者113件、国内ドナー→海外患者1件)で、月間では過去最高の件数となりました。2ヵ月続けて100件を超える件数となります。今年度(4月～10月)の累計移植件数は653件(国内ドナー→国内患者645件、海外ドナー→国内患者3件、国内ドナー→海外患者5件)ですが、現在のペースが続けば、年間で1,100件を超えることとなります。先月号でもお伝えしたように、コーディネーターが対応できる件数は限界に近づいていますが、各関係者のご協力をいただきながら適切な対応をとり、1件でも多くの移植を実現する努力を続けてまいります。

また、これまでの積み重ねである、骨髓バンク設立以来の累計移植件数も10月末で9,890件となりました(国内ドナー→国内患者9,559件、海外ドナー→国内患者154件、国内ドナー→海外患者177件)。12月上旬には累計10,000件を迎える予定です。

なお、今年度(4月～10月)の新規ドナー登録者は22,150人で、昨年度(22,101人、4月～10月)とほぼ同じ人数で推移しています。

●骨髓バンク推進月間について

10月は骨髓バンク推進月間でした。今年も、150回を超えるドナー登録会や様々なイベントが全国各地で行われ、多くの関係者のご協力によ

り、4,281人(速報値)の方にご登録いただきました。これは昨年に比べ190人少ない数字ですが、昨年は「東京モーターショー」で200人のドナー登録(開催期間のうち10月中の登録)があったことを考慮すると、全国各地の皆様の努力が集まった結果だといえます。

●10月の区分別ドナー登録者数

10月の区分別ドナー登録者数は、献血ルーム／1,309人、献血併行型集団登録会／2,327人、集団登録会／455人、その他／190人でした。

●今年度(4月～9月)の寄付金は減少傾向

寄付金収入は財団の運営にとって不可欠なものとなっており、今年度も

◆日本骨髓バンクの現状(平成20年10月末現在)

	9月	10月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,409	4,281	323,440	409,500
患者登録者数	207	232	2,386	26,205
骨髓移植例数	102	114	—	9,890
20歳未満ドナー登録者	—	321	8,630*	—
51歳以上ドナー	179**	118**	12,482**	—

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
*1) 17年3月～ *2) 51歳以上ドナーの延長数
*3) 51歳以上ドナーの新規登録数 *4) 17年9月～

骨髓バンクボランティア
フリーダイヤル
バンクに とうろく
0120-892-106

恒例 ブロックセミナーの季節です

今年も各地でブロックセミナーが開かれる季節になりました。早速2地区で開催されましたので、報告していただきます。

●東北地区

10月18・19日、山形市霞城セントラルで開催。山形市保健センター会場でのチャリティコンサート、日赤のミニ講座、基調講演「いのちと向き合う子供たち」（細谷亮太聖路加国際病院副院長）には、東北6県の加盟団体のほか、山形県内各地から180名余りのご来場をいただき、参加者の皆さんは深い感動に包まれたようです。

その後、山形市活動支援センター会場では、四方田淳全国協議会副理事長から「全国協議会の目指す患者支援」が報告され、翌19日には青森県の柴谷春子さんの「血液疾患と歩む患者・家族の会まらるるの活動」紹介。

「患者支援（ボランティア）の役割・目的・可能性」をテーマにワークショップを行いました。短時間でしたが、「骨髄バンクのボランティアとは？」を考える時間を共有できました。感謝！（小野寺）



●九州地区

11月8日、福岡の筑紫野血液センターで、九州地区ブロックセミナーが開催され、総勢20名の方が参加してくれました。会議前、私に「日赤の部屋をお借りできるって良いですね」と呟っていた方もおられました。



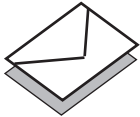
会議は各地の活動報告から始まり、宮崎からは「プロ野球巨人軍のキャンプ地で骨髄バンクのブースを設けたが、最初は通り過ぎるだけだったのに、上原投手が呼び掛けると一気に大勢の人が集まった」という報告がありました。

休憩後、全国協議会から理事として岩手の橋本さんを迎え、協議会からの報告を踏まえて議論に入りました。「現在の活動はドナー登録の数字ばかり追いかけて患者さんやドナーさんの支援が疎かになっていないか？もう一度原点に戻りましょう」というのがテーマだったのですが、具体的な行動を示す案までにはたどり着きませんでした。

また、財団、日赤、全国協議会の間には認識の違いなどから幾つかの点で一貫性に欠ける所もあり、早急に共通のマニュアル作りが必要ではないかと思われました。そして、私たち地区普及広報委員、説明員は不安定な立場で登録活動を行なっているように感じました。

そんな中、近い時期に骨髄移植1万例、さい帯血移植5千例を達成することと「ありがとうイベント」で桜の植樹を企画されているそうです。最後に「私たちの骨髄バンクボランティア活動、やるからには楽しくやって行きましょう」と意見が出たところで終了となりました。（北村）

のり
各地
より
たより



各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

千葉
おめでとう梅田会長
千葉県功労者表彰

11月3日の文化の日に千葉県庁において、千葉骨髄バンク推進連絡会の梅田正造会長が、健康福祉の分野での貢献を認められ、県功労者として表彰されました。

この賞は各方面でそれぞれ顕著な功績を挙げ、県の発展に多大な貢献をされた方々を表彰するもので、本年度で61回目となります。

梅田会長は平成4年から副会長として、同7年からは会長として県内の骨髄バンクのイベント、登録会の企画開催等、県民への骨髄バンクの普及啓発に尽力されています。

また、平成12年には県内初の集団ドナー登録会を実施するなどドナー登録会開催体制を確立。また、大型イベントでの大型・連続・献血併行登録会（東京モーターショーなど）を実現し、県内におけるドナー登録者増に貢献したことがその理由です。

一方、個人的には骨髄提供者としてその貴重な体験を普及啓発活動にも役立ててきたことは、皆さんもご存知のことだと思います。



心からのご寄付に
感謝申し上げます

10月21日～11月20日

㈱タクトコーポレーション	現金	10,000円
千葉骨髄バンク推進連絡会	現金	10,000円
花田学園祭実行委員会	現金	35,000円
イオンマリニピア専門館	現金	6,817円
竹里庵コンサートの会	現金	50,000円
サンクト・フロリアン・ピアノ三重奏団		
チャリティコンサート（公的骨髄バンクを支援する東京の会）	現金	10,000円
岩瀬日大高校生徒会	現金	10,000円
鈴木章遺作展（鈴木綾子）	現金	23,754円
安井梨紗	現金	9,000円
飯島孝枝	現金	2,240円
塩谷 圭	現金	1,000円
山田康博	現金	9,880円
須藤勝巳	現金	8,401円
鈴木純子	現金	1,340円
黒田多喜男	現金	10,000円
白根浩二	現金	10,000円
堀江英二	現金	5,000円
赤木隆子	現金	10,000円
匿名	現金	18,000円
匿名	現金	12,000円
匿名	現金	5,000円

●白血病患者支援基金

柴山隆	現金	300,000円
フジ北条店	現金	65,909円
ファミリーマートFC池ノ上駅北口店	現金	2,815円
かじ家	現金	3,354円

●佐藤さち子患者支援基金

柴山隆	現金	200,000円
OCTVチャリティゴルフ	現金	101,205円
原豊文	現金	5,000円
永島ふさ子	現金	3,000円

（敬称略）

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会



和歌山
講演会にフェスタで出店
力みなぎる書とゴスペル

10月18日、恒例の「医療講演会」、そして人権フェスタでの

ブリス出店と、秋のイベントが続きました。

医療講演会では、骨髄移植の始まりから、骨髄バンクの15年の歴史を小寺良尚先生にお話いただき、移植30年後経過の青年の生きている喜びのお話は、聞くものに感動を与えました。

人権フェスタでは、俳人の木割大雄さんが、書道パフォーマンスで昨年に続いて参加くださいました。ゴスペルのグループ「クロスハーツ」も加わって、曲にあわせて書いた「命」は力強く、生きる力をもらった気がしました。フリーマーケットの売り上げも上々で、「ひこばえ」が「ひこばえ」でいるための大切な行事を、無事に終えることができました。応援いただいた皆さんに感謝です。（北山）

埼玉
サンクトの音色に
今年も心癒されて

11月15日、爽やかな秋の午後、日本バプテスト浦和キリスト教会で、今年もサンクト・フロリアンの皆様による骨髄バンクチャリティコンサートが催されました。

会場ホールには多くのお客さまが集まり、そのすばらしい音色に耳を傾けていました。教会の厳かな雰囲気の中、演奏者とお客さまの距離が大変近く、演奏の様子を身近に感じて楽しむ事が出来た事も大変良かったと思います。演奏者お一人ずつから大変詳しく曲の紹介もされ、その内容を思い描きながら、その内容を思い描きながら

素敵な音楽に心も癒されたあつという間の2時間でした。ありがとうございました。（杉本はるみ）

東京
おかえりあやちゃん！
みんな待つてました

11月23日、毎年恒例参加となっているひまわり地域交流祭がありました。例年は骨髄バンクPRコーナーにて普及啓発を兼ねたバザーを行うのみなのですが、今年は「あやちゃんの贈り物展」も併せて行いました。ここ三鷹は、三瓶彩子ちゃんの生まれ育った地なのです。この地での久々の展示に市民の関心はとも高かったです。



どもさんを亡くした患者家族の講演、そしてチャリティ抽選会という盛りだくさんの内容でした。

加茂市在住の高野由美子さんは、移植を受けたが治らなかつたことで「ドナーさんにどう伝えればよいのか分からず、手紙を書けなかった」という苦悩を話されました。

読売巨人軍提供のチャリティ抽選会では、選手直筆サインボールや、東京ドームで全試合を観戦しなければ入手できない選手カードセットなどのお宝物の数々。プレゼントのジャビット君とファンの方の踊りも飛び出す楽しい抽選会でした。



新潟県では新しい組織で私たちのスタートになりますが、骨髄提供率が向上し患者さんの救命に役立てられるよう、上越を拠点に県内各地で骨髄バンクの普及啓発、ドナー登録会などの活動に励んで参ります。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。（齊木桂子）

